

2021年度 事業計画書

事業名

盲導犬事業 〈公1〉

社会適応推進事業 〈公2〉

管理部門 〈法人会計〉

自：2021年 4月 1日

至：2022年 3月31日

公益財団法人北海道盲導犬協会

札幌市南区南30条西8丁目1番1号

盲導犬事業 〈公益目的事業1〉

(2021年4月1日 ～ 2022年3月31日)

■ 盲導犬の育成・貸与事業

1. 盲導犬訓練・貸与に関すること

1) 視覚障がい者への盲導犬貸与目標を11頭とする。

※盲導犬申込者（2021年2月時点）9～13名（代替者3～4名、新規申込者6～9名）

2) 2021年度の盲導犬訓練基準認定目標を12頭とし、20～25頭の訓練犬に対して、より充実した訓練を行う。

3) 盲導犬ユーザーのサポート体制を安心・安全の観点から強化する。

- ・新型コロナウイルス感染予防に対応する指導体制を検討する。
- ・ハーネスおよび盲導犬の啓発表示の改良を行う。

4) 訓練士・指導員の養成を重点的に取り組み、養成カリキュラムを構築する。

2. 繁殖に関すること

1) 2022年度に20～25頭の訓練犬が確保できるように出産頭数60～75頭（出産件数15腹前後）を計画する。

2) 繁殖犬として新たに5～8頭（ラブラドル5～6頭、ゴールデン2頭）を確保して、繁殖犬の質の維持・向上に努める。

3) アジアガイドドッグスブリーディングネットワーク（略称：AGBN）のGD-Bartテストに積極的に取り組み、AGBNが目指すアジア地域全体の盲導犬の育種改良に協力する。

4) 繁殖犬飼育委託ボランティアに向けた年間繁殖計画の説明会を実施する。

3. パピーウォーキングに関すること

1) 2022年度訓練犬・繁殖犬適性評価対象となる子犬を50～55頭委託する。

2) パピーウォーカーを対象とした飼育講習会を実施する。

・委託終了までの間に、講習会を3回、および家庭訪問を3～4回実施してパピーの飼育指導にあたる。

・月1回程度 任意参加型の講習会を実施する。

3) コロナ禍におけるパピーの飼育指導の在り方を検討していく。

・アクティブラーニングを取り入れて飼育講習会の内容を更に充実させる。

・オンラインによる事前訪問やパピー講習会の実施を検討する。

4. ケネル・老犬ホームに関すること

1) 老犬飼育委託家庭への定期訪問や老犬来所の機会に犬の健康状態を把握し、高齡犬の飼育環境を整えるアドバイスに繋げる。

2) 担当職員で老犬飼育委託家庭への訪問件数の分担を行い、新任者には担当を持つことによる責任と経験を積ませる。

3) 狂犬病予防接種・混合ワクチン接種・畜犬登録についての実施体制を確立させる。

5. 研修に関すること

1) 外部研修への積極参加と研修成果を共有する。

・視覚障害リハビリテーション基礎講習会の受講

・盲導犬育成ジャパンセミナー、施設職員相互研修会の参加

- 2) 指導員によるケース会議・ケース発表による事例研究の他、他施設等の訓練見学・情報収集を積極的に行い、学び合う環境づくりを行う。
- 3) 新任職員研修の一環として新たに繁殖・パピー・老犬担当者にも半年程度の犬の訓練研修を計画して犬との関係作りの基礎を学ばせる。
- 4) 新型コロナウイルス感染予防のためオンラインによる外部研修を活用して職員のスキルアップを図る。
- 5) 自主研究の取組みを推進する。

6. 犬具飼料等の頒布に関すること

- 1) 盲導犬ユーザー、飼育ボランティアの負担を軽減するため犬具・飼料を低価格で仕入れ頒布する。
- 2) 盲導犬ユーザー、視覚障がい者に歩行補助具・日常生活用具の情報提供と頒布により日常生活を支援する。

■ 普及啓発事業

1. 盲導犬の普及啓発に関すること

- 1) 新型コロナウイルス感染予防対策を講じたセミナー体験会を検討する。
- 2) 教育機関、福祉事業者、自治体等が実施する盲導犬講習会に講師派遣協力を行い、盲導犬と視覚障害に関する普及啓発を推進する。
- 3) 補助犬受入れ義務者向けに視覚障害と盲導犬への理解を図ることを目的とした講習会を自治体等関係機関と連携し開催する。
- 4) 移動支援従事者や同行援護従事者を対象としたフォローアップ研修を、オンライン、新型コロナウイルス感染予防対策を考慮した内容で企画する。
- 5) 関係団体、商業施設、支援企業等の協力を得て盲導犬啓発キャンペーン活

動を実施する。

- 6) 個人を対象とした施設見学会およびオンライン見学会を企画し実施する。
- 7) 盲導犬の普及啓発目的のオリジナル商品を製作・頒布して、盲導犬育成事業に対する理解と募金への協力に繋げる。
- 8) 広報誌「北の盲導犬だより ミーナ」を年2回各17000部発行する。
- 9) コロナ禍における新たな啓発活動として、ソーシャルメディアを活用した情報発信・見学会・セミナー等を研究し取り組む。

■ 調査研究事業

1. 調査・研究に関すること

- 1) 帯広畜産大学との効率的育成技術の共同研究を推進する。
- 2) A G B Nの盲導犬改良システムの構築研究事業に協力する。

■ その他事業

1. 財源確保に関すること

- 1) ホームページやソーシャルメディアを活用した情報発信を強化してコロナ禍における協力者拡大や継続支援に繋げる。
- 2) 寄付者へのサポート会員制度紹介を積極的に行い、会員増を図る。
- 3) 年表カレンダー、盲導犬協会通信等の継続支援ツールの効果的な活用について検討する。
- 4) 募金箱の新規設置目標は200ヵ所とする。
- 5) 募金箱の定期訪問回収と設置者への送金の依頼、設置状況の確認を行う等、募金箱を適切に管理する。
- 6) 新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めながら街頭等での募金活動を実

施し、財源の確保、盲導犬の啓発、協力者の拡大を図る。

活動予定場所：北海道どさんこプラザ札幌店（JR札幌駅）、池内ゲートほか
7) キャッシュレス化拡大の影響と対策について調査研究する。

2. 関連団体との協力連携に関すること

社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会、認定NPO法人全国盲導犬施設連合会、国際盲導犬連盟、北海道盲導犬ユーザーの会、その他各地域にある当協会盲導犬使用者の会との協力・連携を図り社会環境整備に参画する。

3. その他

車両更新計画に基づき、訓練車両1台（ミニバン）の民間助成金申請を行う。

社会適応推進事業 〈公益目的事業2〉

(2021年4月1日 ～ 2022年3月31日)

1. 生活訓練の実施に関すること

- 1) 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに基づいて短期入所訓練を実施する。実施回数及び指導数は、10回、10名とする。また、新規訓練希望者は4名を目標とする。

開催日程予定

第1回 4/ 5～ 4/16、第2回 5/17～ 5/28、第3回 6/ 7～ 6/18

第4回 6/28～ 7/ 9、第5回 7/20～ 7/30、第6回 9/ 6～9/17

第7回 9/27～10/ 8、第8回 10/18～10/29、第9回11/ 8～11/19

第10回 1/17～1/28

- 2) 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに基づいて通所及び訪問による指導を行う。指導数は月5ケースとする。

※通所及び訪問による年間指導ケース数は、各受講者の訓練期間により変動するため、同時に受け入れ可能な訓練者数（ケース数）を月単位で示している。

- 3) 入所訓練は終了毎、訪問・通所訓練は3ヶ月毎にケース会議を行い、訓練達成度の確認及び評価と今後の計画を決定する。
- 4) 新型コロナウイルス感染予防による入所数制限により受け入れできない希望者への臨時措置として札幌市以外においても訪問指導を計画する。

2. 視覚障害リハビリテーションの普及啓発に関すること

- 1) 道内の視覚障がい者・関係者に対して、当協会の生活訓練事業を啓発するために、過去3年間に実施していない地域を中心に道内2ヵ所で相談セミナーの開催を計画する。 候補地 北見、小樽
- 2) ロービジョンケアの集まりや視覚障がい者団体の行事等に参加し、盲導犬・生活訓練に関する情報提供を行い、盲導犬使用希望者、生活訓練受講希望者の顕在化に取り組む。
※ロービジョンケアの集まり：視覚障がい者と歩行訓練士、視能訓練士などの専門職が自由に相談や意見交換を行う場で、札幌、旭川、帯広の3ヵ所で行われている。受障後間もない方の参加もありピアカウンセリングの場としての役割もある。
※視覚障がい者団体：ここでは札幌市視聴覚障がい者情報センター、札幌市視覚障害者福祉協会、北海道視覚障害者福祉連合会等を指す。
- 3) 「第1回ロービジョンケア講習会」（「教育・体験セミナー」より改称）を北海道眼科医会と共同で開催（2021年9月25日）し、道内の医療・福祉・教育機関及び視覚障がい者に視覚障害リハビリテーションを普及啓発する。
- 4) 昨年延期となった、日本眼科医会創立90周年記念事業に協力する。
 - ・目の健康講座in釧路（2021年7月11日）への開催協力
 - ・目の健康講座in札幌（2021年9月26日）への開催協力
- 5) ロービジョンケアを実施する医療機関を中心に日常生活用具展示会及び相談会を、新型コロナウイルス対策を講じながら継続して実施し、視覚障害リハビリテーションの普及啓発に取り組む。
- 6) 生活訓練受講者に協会行事や訓練・日常生活用具等の最新情報を発信し、再利用の機会とする。

管理部門 <法人会計>

(2021年4月1日 ~ 2022年3月31日)

- 1. 理事会・評議員会・三役会により、効果的に法人業務の意思決定等を行う。**
 - 1) 理事会は、年3回を予定する。
 - 2) 評議員会は、年2回を予定する。
 - 3) 三役会、経営会議は毎月開催する。

- 2. 新型コロナウイルス感染症拡大のため延期した設立50周年記念事業を進める。**

- 3. 防災対策及び犬舎の暑さ対策を段階的に進める。**
 - ・ 電話設備、自動火災報知設備の更新
 - ・ 犬舎窓の遮熱フィルム施工

- 4. リモート会議システム導入の調査検討を行う。**

- 5. 当協会の新型コロナウイルス感染予防ガイドラインの運用状況や自治体の指針等を勘案し、ガイドラインの見直しほか必要な措置を積極的に講ずる。**

- 6. 新規採用職員は指導部1~2名、指導部パート1名を計画する。**